

# りふ 議会だより

## 6月定例会

### CONTENTS

補正予算……………	2
コミュニティセンタートイレ改修 工事の設計業務を計上	
一般質問……………	5
10人の議員が24件を質問、 町の考えを質す <sup>ただ</sup>	
追跡レポート……………	18
運転免許返納しやすい環境整備を	



(撮影：議会広報常任委員 安田 知己)



利府小学校で、住民参加型の防災訓練が行われました。  
自助・共助の力で地域を守りましょう。  
(6月16日)



 No.174

発行日 令和元年7月26日

RAKUTEN  
EAGLES

「楽天イーグルス  
二軍本拠地のまち」

# 一般会計補正予算 4千万円減額し

総額

# 127億円

6月定例会は、6月11日から14日まで4日間の会期で開かれました。一般質問では、10人の議員が登壇し、高齢者支援、道路整備、文化複合施設整備など町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。町長から報告4件、承認1件、補正予算などの議案18件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算は、既定の予算から4339万円を減額し、総額127億9661万円とするものです。

## ■一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入） (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
低所得者・子育て世帯主向けプレミアム付き商品券販売代	-1億1000万円	当初町で商品券販売等を予定していたが、商工会等に依頼することによる減額
コミュニティセンター助成（青山町内会）	+1500万円	「コミュニティセンター助成事業」が採択されたことによる増額
子ども・子育て支援事業事務費等補助	+2305万円	国による幼児教育無償化事業に伴う増額

歳出（支出）

項目	補正額	補正の理由
コミュニティセンタートイレ改修工事実施設計	+300万円	コミュニティセンタートイレ改修工事に伴う実施設計をするため増額
庁舎維持修繕工事	+340万円	役場庁舎の熱源コントローラーの交換及び来庁者用喫煙所設置工事を増額
子ども・子育て支援システム改修業務委託	+1329万円	幼児教育無償化に向けたシステム改修に伴う増額
総合体育館アリーナ照明交換工事	+100万円	総合体育館のメインアリーナ照明交換工事に伴う増額

# 務を計上



トイレ以外の改修は

**答** 現在、協議を進めている。

**問** オリンピックが開催される。トイレ以外の改修は考えないのか。

**答** 12月に工事を着工し、令和2年3月末まで完成させる。

**問** 工事の開始時期と完成予定は。

歳出 300万円増  
政策課  
コミュニティセンター  
トイレ改修

**答** 青山3丁目集会所建設に対する（財）自治総合センターの補助である。対象事業費の5分の3で、上限は1500万円である。

**問** 青山町内会へ助成するとの説明であった。補助基準は。

歳出 1500万円増  
コミュニティセンター  
助成事業



# コミュニティセンタートイレ

# 改修工事の設計業

補正予算・議案審議

**問** 対象人数と販売方法は。  
**答** 低所得者が4500人、0歳〜2歳の子どもの数が千人、合わせて5500人を想定している。郵便局で販売予定である。

**問** 購入できる対象者は。  
**答** 低所得者と、0歳〜2歳までの子どもがいる人が対象である。要件を満たしている人は、どちらも対象になる。

**歳出** 3620万円増  
 保健福祉課  
 低所得者子育て世帯主向けプレミアム商品券



施設ごとに適正化方針を

**問** 策定概要は。  
**答** 個別計画が作られていない公共施設の適正化方針を策定する。施設ごとに評価表を作成し、有識者会議で方針を検討する。

**歳出** 379万円増  
 財務課  
 公共施設適正化方針策定業務

**問** 水素ステーションは仙台市にしかない。補給が困難ではないか。  
**答** 地球温暖化という深刻な問題がある。国や県も推奨しており、町の公用車を代表し水素自動車を導入する。

**問** 理由と車種は。  
**答** 町長使用の公用車が12年経過し、走行距離も10万キロを超えている。燃料電池自動車の「ミライ」を予定している。

**債務負担行為** 766万円増  
 自動車リース



## 議案27号

例  
 改正  
 条改

## 議員報酬等改正

議員報酬・政務活動費等の条例が提出され可決しました。適用は、次の任期からとなります。  
 現在の議員報酬は、平成8年以来見直しがされておらず、県内21町村議会の中で下から2番目となっております。今回の改訂は、約23年ぶりとなります。

○議員報酬（月額） (単位：円)

区分	現行額	改正額	差額
議長	298000	331000	33000
副議長	243000	274000	31000
委員長	232000	253000	21000
議員	229000	250000	21000

○政務活動費

現行額	改正額	差額
15000	10000	-5000

## 人事

### 副町長に

## 桜井やえ子氏



副町長に桜井やえ子氏を選任することに同意しました。  
 任期は、令和元年7月1日から令和5年6月30日までです。

※ 債務負担行為＝複数年にわたり支払いが生じる契約を結ぶため、債務の負担を可能にするもの。

議案	伊藤 司	鈴木 晴子	西澤 文久	後藤 哲	小淵 洋一郎	安田 知己	木村 範雄	土村 秀俊	吉岡 伸二郎	高久 時男	鈴木 忠美	伊勢 英昭	永野 渉	遠藤 紀子	渡辺 幹雄	郷右近 隆夫	及川 智善	櫻井 正人	議決結果 (賛成：反対)	
報告第1号～第4号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	承認(17：0)
議案第25号～第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(17：0)
議案第42号	無記名投票による																	可決(17：0)		

令和元年6月定例会提出議案 24件

(報告4件、承認1件、条例9件、補正予算4件、契約3件、人事1件、委員会提出議案1件、その他1件)

報告1 継続費繰越計算書

「文化複合施設整備事業」、「須賀地区漁業集落防災機能強化促進事業」、「利府小学校校舎建替え事業」の3件を、平成31年度に繰越したことを報告

報告2 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された一般会計に属する11件の事業を、平成31年度に繰越したことを報告

報告3 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された下水道特別会計に属する1件の事業を、平成31年度に繰越したことを報告

報告4 水道事業会計継続費繰越計算書

利府浄水場監視制御設備等更新事業を、平成31年度に繰越したことを報告

承認1 専決処分の承認

町税条例、国民健康保険税条例を、法令等の改正に伴い、所要の改正

議案25 町税条例等の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、所要の改正

議案26 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例

10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴うため、関係する条例の所要の改正

議案27 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び議会の政務活動費の交付に関する条例の一部改正

「議員報酬」の引き上げ、「政務活動費」の引き下げ等を行うため、所要の改正

3ページに掲載

議案28 介護保険条例の一部改正

消費税率の引き上げに伴い、介護保険料の軽減措置の対象者を拡大するため、所要の改正

議案29 心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

県の障害者に係る医療費助成事業の改正に伴い、所要の改正

議案30 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の基準の改正に伴い、所要の改正

議案31 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の基準の改正に伴い、所要の改正

議案32 課室設置条例の一部改正

総務課内にある「オリンピック推進室」を独立させ体制強化を図るため、所要の改正

議案33 地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

地区計画区域内の建築物の制限を図るため、所要の改正

議案34 令和元年度一般会計補正予算

歳入は、社会福祉費補助金などの増額や、雑入の減額等

歳出は、コミュニティセンター助成事業などの増額やプレミアム付き商品券扶助費などの減額

(4339万円減)

2ページ・3ページに掲載

議案35 令和元年度介護保険特別会計補正予算

歳入は、消費税増税に伴う低所得者の保険料軽減強化のため減額

歳出は、人事異動により事業費を減額

(853万8000円減)

議案36 令和元年度下水道特別会計補正予算

歳入は、消費税率の引上げに伴い増額

歳出は、測量及び実施設計業務委託料を増額

(349万4000円増)

議案37 令和元年度水道事業会計補正予算

収益的収入は、消費税率の引き上げ

収益的支出及び資本的支出は人件費の調整等

(収益的収入 570万4000円増)

(収益的支出 29万3000円減)

(資本的支出 6万4000円増)

議案38 工事請負契約の締結

移動系防災行政無線整備工事

議案39 工事請負契約の締結

文化複合施設建築工事

議案40 工事請負変更契約の締結

須賀地区水門土木工事(第5回目変更)

議案41 町道の路線変更

文化複合施設整備に伴い、路線の起点を変更

議案42 副町長の選任

櫻井やえ子氏を選任

3ページに掲載

委員会提出議案1 町議会の議決すべき事件に関する条例



# 一般質問

# 我が町政を問う

6月定例会では、10人の議員が24件の※一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は、6ページから15ページです。

なお、全文記録(議事録)は8月下旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。

QRコードはこちら →



利府町議会

検索

## 吉岡伸二郎 (6ページ)

- 町水道事業
- 公共施設の老朽化対策

## 鈴木 忠美 (7ページ)

- 中央公園野球場等整備
- 館山公園整備
- パークゴルフ場整備

## 小淵洋一郎 (8ページ)

- 長町利府断層直下型地震対策

## 遠藤 紀子 (9ページ)

- 高齢者支援に新しい方策
- 性の問題と対策

## 木村 範雄 (10ページ)

- 国民健康保険の減免
- 路側のカラー化
- 陸上自衛隊利府射撃場

## 安田 知己 (11ページ)

- 幼児教育・保育の無償化
- 障がい者支援
- 木造住宅耐震改修工事の費用助成

## 伊勢 英昭 (12ページ)

- 環境整備と空き地・空き家条例
- 町道の整備

## 土村 秀俊 (13ページ)

- 交差点等危険個所の点検改善
- 危険ブロック塀等安全対策
- 住宅リフォーム助成制度創設

## 及川 智善 (14ページ)

- 給食費無償化の財源確保
- 文化複合施設建設

## 鈴木 晴子 (15ページ)

- 児童虐待防止への取り組み
- 高齢者への免許返納支援策
- 文化複合施設第2期計画

※ 一般質問＝議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含まない。



よしおかしんじろう  
吉岡伸二郎



質問者の動画  
が見られます

一般質問

## 問 水道管の耐震化と 予算計画は

答 年間3億円が必要

**問** 「みやぎ型管理運営方式」をどのように捉えているのか。また、導入のメリット・デメリットは。

**答** 民間の経営ノウハウや技術力を最大限活用し、コスト削減を図り、経営基盤の安定強化を実現で

きる制度設計である。

**問** 50年経過している水道管もある。東日本大震災時には、約1か月間水道が使用できなかった。耐震化を進めなければならないと考えるが、更新状況はどうか。

**答** 水道管の総延長は約250kmで、耐用年数を超えている管路は30kmほどである。今後は耐震管に更新する計画期間を10年間と定めている。年間事業費は3億円程度である。

## 問 公共施設 老朽化対策は

答 必要に応じて  
修繕している

各施設で定期点検を実施し、必要に応じて修繕している。

**問** 施設を修繕、更新する際の財源確保は。

**答** 6月定例会補正予算に、公共施設の中長期適正化方針を策定する事業費を計上している。また、施設の存廃統合や更新する際の財源も含め、施設の在り方を有識者会議で検討する。

**問** 施設の機能が大きく低下する前に改修する計画保全を導入することにより、コスト面も抑えられるのではないか。

**答** 「町公共施設等総合管理計画」に基づき検討したい。

**問** 公共施設の老朽化対策と施設ごとの優先順位は、今後どのように進めていくのか。

**答** 個別の施設計画を策定している施設以外は、



耐震化が待たれる水道管



鈴木 ただみ  
すずき 忠美



質問者の動画  
が見られます

一般質問

## 中央公園 野球場の整備を

### 状況を踏まえ 修繕、整備を検討する

**問** 中央公園野球場は完成後22年経過し、球場周辺防球ネットの劣化破損で防球効果が低下している。張り替え交換する計画は。

**答** 全面的な修繕や部分張り替えを行う。

**問** 増設は、施設の構造上難しい。落下防止柵は検討したい。

**答** 増設は、施設の構造上難しい。落下防止柵は検討したい。

**問** 駐車場の不足している。対応策はあるのか。

**答** 多目的運動場の芝部分と保健福祉センターの駐車場に対応する。

**問** 中央公園野球場の整備管理は、職員も行っていいのか。

**答** 中央公園野球場の整備管理は、職員も行っていいのか。



ボランティアだけでは限界

**問** 整備管理と運営は、業務委託している。整備は手さぐりな部分もあるため、職員も携わっている。

**答** 整備管理と運営は、業務委託している。整備は手さぐりな部分もあるため、職員も携わっている。

**問** 使用を禁止している「子供広場」の整備計画は。

**答** 経年劣化している。今後は、利用状況を踏まえ修繕・整備を検討する。

## 館山公園登り坂の 安全対策整備を

### 注意喚起の看板を 設置する

**問** 公園駐車場へ向かう坂道は、途中に待避所が2か所整備されている。道幅が狭く、坂道やカーブで交差する際、女性や高齢者は、かなり苦労しているが安全対策は。

**答** 公園利用者の安全確保の観点及び史跡や地形の問題から車の乗り入れは考えていない。

**問** 館山公園として、「冒険の丘」整備も並行して進めるべきでは。

**答** 道路の両側が私有地であり、用地の確保や立木の補償及び史跡に関する協議が必要である。当面は、注意喚起の看板を設置する。

**問** 桜の開花時期限定で、高齢者、障がい者を対象に車を山頂まで乗り入れできないか。

**答** 遊具類の劣化や破損などで、安全性を考慮し撤去を行っており、現在は2基の遊具のみである。利用状況を踏まえ、遊具の設置を含めた整備を検討する。

### これも 質問

**問**

パークゴルフ場整備の調査結果は

**答**

平場面積、財源的に整備は困難





おぶちよういちろう  
小湊洋一郎



質問者の動画  
が見られます

一般質問

# 問 長町利府断層 直下型地震に備えよ

## 答 配備を定め突発事態に 備えている

**問** 地震発生時、通常業務を含めた、町の初動体制はどうか。

**答** 災害の種類、規模により警戒配備から非常配備まで、必要な人数を定め突発的事態に備えている。



備えたい長町利府断層

**問** 各組織が迅速かつ有効に機能するためには「職員一人一人が何をすべきか」任務を理解しておくことが重要だが、どうか。

**答** 職員全員に活動マニュアルを配布し災害担当職員には、防災研修を行っている。

**問** 大型商業施設等で負傷者が多く発生した場合、町はいかに対応するのか。

**答** 災害発生時の医療救護活動は、塩釜医師会と協定を締結している。

**問** 総合防災訓練で医師、看護師による※トリアージを行い、訓練参加者による負傷者の搬送・応急救護を行ってはどうか。

**答** 今後、検討する。

**問** 熊本地震を契機に活断層に近い公共施設の耐震化が問題となった。町の公共施設はどうか。

**答** 役場庁舎、教育施設等全体の99.3%が新しい耐震基準に適合している。

**問** 電力復旧時に火災となる「通電火災」への対策をとっているのか。



通電火災から我が家を守れ

**答** 地震が発生し避難する際、電気のブレーカーを下ろすことを促している。

**問** 町として感震ブレーカーの有効性をホームページ等で積極的に広報しているかどうか。

**答** 感震ブレーカーは、とても重要で役立つものと考えている。町として広報していきたい。

※ トリアージ=災害・事故現場などで大勢の負傷者が発生した時に、重症度によって治療の優先順位を決めること。





えんどう 遠藤 のりこ 紀子



質問者の動画が見られます

一般質問

## 問 高齢者向けのガイドブックを

### 答 情報発信の有効な手段である

**問** 町独自の子育て支援ガイドブックが好評である。医療・サービス、救急時の対応など「高齢者向け」のガイドブックを作成してはどうか。

**答** ガイドブックは、情報発信の有効な手段である。第8期介護保険・高齢者福祉計画の改訂時にアンケート調査を予定している。高齢者のニーズ



高齢者に優しい町に(サロン風景)

に合った内容を踏まえ検討したい。

**問** 高齢者にとって、生涯学習は大切である。空き教室などを活用して学ぶ場の充実を図っては。

**答** 「十符の里大学」が好評である。また、「りふわくわく広場」などで、子ども達を支えてもらっ

ている。

**問** 認知症予防には、運動も大切である。町のプールは利用者が増えた。フィットネス教室は、好評で増設の要望があるが。

**答** 4月から1教室増やしている。これにより5月利用実績は、30年度より400人程増えている。

## 問 性暴力に遭った人への対応は

### 答 相談に備え打ち合わせはしている

**問** 妊娠前から子育て期の一人一人に寄り添い相談支援を行う「子育て世代包括支援センター」が設置された。性暴力に遭った人への対応はできるのか。

**答** 本意な性行為に対する女性の身を守る最後の砦として意義がある。扱いは国の指針に従って検討していく。

**問** 学校教育では、性の問題をどのように位置づけているのか。

**答** 学習指導要領に基づき、小学4年生から中学3年生まで発達段階に応じた教育を行っている。個別の対応は、相談に応じて。今後新しい知識も含めて研修等も考えていく。

**答** 今のところ、その相談はない。対応に備え打ち合わせはしている。

**問** DVや虐待による望まない妊娠に緊急避妊薬がある。72時間以内に服用すれば効果がある。オンラインでの処方が可能であるが、その理解は。



きむら のりお  
木村 範雄



質問者の動画  
が見られます

一般質問

## 問 国民健康保険 子どもの均等割減免を

### 答 調査研究していく

**問** 納税の基本原則は応能負担であるが、国民健康保険では均等割という応益割が適用されている。

**答** 健康で文化的な生活を維持するため、均等割分を減免する考えはないのか。



私から均等割を取らないでね

**答** 今後、国の支援制度として子どもに対する均等割軽減制度が創設された場合には、近隣市町の動向を確認しながら、子どもの均等割減免を検討したい。

**問** 子育て世帯の共通した課題は、お金の心配なく子どもを学ばせ社会人に育て上げることである。そのためにも、給付型奨学金制度の拡充を国に求め、町独自の給付制度を実施してはどうか。

**答** 国は、平成29年度に給付型奨学金制度を創設し、平成30年度から対象者を増やし実施している。町独自の給付型奨学金制度は、現状では困難と考えている。

## 問 歩きやすい路側の カラー化を

### 答 年次計画により 塗り直している

**問** 歩車道が分離されていない町道では、路側のカラー化が行われている。範囲内でも歩きづらい箇所

**答** 平たん部が1m未満の箇所等課題もあり、改善するのは難しい。

**問** 高齢者や子どもたちの安全確保をするためには、歩車道の分離は避けられない。車の乗り入れ口の傾斜が、歩行者の通行に支障を来すとの声もある。歩車道の平たん化に取り組む考えは。

**答** 薄くなった箇所は、年次計画により順次塗り替えている。損傷等には随時対応している

所があるが、整備後の点検と対策は。

### これも 質問 問

**答** 定期的な連絡はない  
陸自利府射撃場  
訓練時期等の連絡は



やすだ ともみ  
安田 知己



質問者の動画  
が見られます

一般質問

# 問

## 幼児教育・保育の無償化 給食費も無償に

# 答

### 町民の意見を聞き 調査研究する

**問** 幼児教育・保育の無償化では、給食費は無償化の対象ではない。これまで副食材料費は保育料に含まれていた。3〜5歳児の副食材料費が実費負担に変わるのでは問題ではないか。

**答** 国の制度がはっきりしない状況である。町民の意見を聞き調査研究する。



無償化を期待しています

**問** 幼稚園、保育所の給食費が無償化を考えるべきではないか。

**答** 国から具体的な内容が示されていない。推移をみて判断する。

**問** 給食費が徴収される。継続が必要ではないか。

**答** 国から具体的な内容が示されていない。推移をみて判断する。

**問** 無償化で保育所の入所二入りが増し、待機児童が増えるのではないか。

**答** 定員拡大や弾力運用を実施し受け皿を確保する。

# 問

## 障害者福祉タクシー利用助成 生活状況で配布を

# 答

### 身体障害者手帳 1・2級を対象とする

**問** 身体障害者手帳の認定ではペースメーカーを使用している人は、一律1級としていた。しかし、平成26年から日常生活能力により1級から4級に認定されるようになった。見直しにより3級以下と認定された障がい者はタクシー券が利用できず通院などに支障をきたしている。生活状況により、タクシー券を配布するべきではないか。

**問** 障がい者認定が3級に見直されても、実際には健康状態が改善されない人もいる。一人暮らしの障がい者には通院のためのタクシー利用券が必要ではないか。

**答** 身体障害者手帳の認定ではペースメーカーを使用している人は、一律1級としていた。しかし、平成26年から日常生活能力により1級から4級に認定されるようになった。見直しにより3級以下と認定された障がい者はタクシー券が利用できず通院などに支障をきたしている。生活状況により、タクシー券を配布するべきではないか。

# これ も 質 問

## 木造住宅 耐震改修工事に 代理受領制度を

**答** 当面は補助金交付を速やかに行う

※ 代理受領制度＝申請者(建物所有者等)との契約により耐震改修工事等を実施した者(工事施工者等)が、申請者の委任を受け、補助金の受領を代理で行うことができる制度。この制度を利用することにより、申請者は工事費等と補助金の差額のみ用意すればよくなり、当初の費用負担が軽減される。





いせ ひであき  
伊勢 英昭



一般質問

## 問 空き家条例を制定せよ

### 答 早期に策定したい

**問** 神谷沢の労災リハビリセンター跡地の現状を把握しているのか。

**答** 平成29年11月に厚生労働省に移管され、昨年3月土地取得の意向確認



雑然としている跡地

があり、同6月に取得しないと回答した。

**問** 閉鎖してから既に5年経過した。その間雑草が生い茂り、タヌキの出没など環境が悪化している。維持管理など施設跡地の内部を把握しているのか。

**答** 把握していない。

**問** 町の空き地条例に基づき、厚労省へ徹底した管理を求めるべきでは。

**答** パトロール時に施設跡地の状況を見て要請していきたい。

**問** 空き地・空き家・ゴミ屋敷等の地域問題を網羅した条例が必要ではないか。

**答** 行政撤去等費用の問題が発生する。早期に策定したい。

## 問 今後の道路整備は

### 答 長寿命化計画で積極的に進めたい

**問** 町内には、凹凸の起伏が残ったり雨水が溜まる道路が点在しているが。

**答** 復旧事業と復興事業とがあり、種類と内容が違うものである。災害復旧事業は3年以内で現況復旧が大原則である。

**問** 復旧事業は終わりが。

**答** 完了したと考えている。道路の維持補修に関しては平成30年度に長寿命化計画を策定した。順次補修計画を積極的に進めたい。

**問** 道路の長寿命化に、改質アスファルトが効果的と聞くが。

**答** 一日250台以上の大型車が通行している箇所で使用している。

**問** 復興交付金事業も終わろうとしている。町の復興申請も終了するのか。

**答** 復興計画期間は、令和2年度末までとしており、事業延長は行わない。



つちむら ひでとし  
土村 秀俊



質問者の動画  
が見られます

一般質問

## 問 交差点の事故から 児童を守る対策は

### 答 防護柵などの 安全施設を整備していく

**問** 滋賀県大津市で、保育園児が交差点の事故に巻き込まれ死亡した。市では、散歩ルートの点検や変更など危険な交差点に防護柵を設置し安全対策を実施した。町はどのような対策をするのか。



児童を守る防護柵

**答** 安全施設整備は、調査結果を踏まえ「通学路等安全対策推進会議」で検証し対策を講じる。

**問** 保育施設の増設で、園児数が増加している。また、商業施設開設など交通量も増加している。児童の安全確保のため交

**答** 差点内の具体的な対策が必要ではないか。

**答** 新しく交差点を整備又は改良する際には、車の交通量や歩行者の横断が多く見込まれる場合に防護柵等の整備を中心として対策を講じる。

## 問 危険ブロック塀などの 安全対策を急げ

### 答 補助制度の活用で 除却の周知を図る

**問** 危険ブロック塀除去への助成が増額された。町内6小学校区のスクールゾーンには依然として危険ブロック塀があるが、何か所あるのか。

**答** 安全点検の結果、対象となるブロック塀は107か所で、改善が必要と判断されたブロック塀33か所のうち1か所は除去された。残りの32か所は、補助制度を活用した安全対策を周知している。

**問** 倒壊の危険から児童を守るため、早急に安全対策が必要ではないか。

**答** 特に緊急に改善が必要と判断されたブロック塀は、教育委員会に情報提供し、関係機関と協議の上所有者の承諾を得てブロック塀に危険標示等の設置を検討している。

### これも 質問

**問** 住宅リフォーム  
助成制度創設を

**答** 木造住宅の  
耐震助成等を優先する



おいかわ ともよし  
及川 智善



質問者の動画  
が見られます

一般質問

## 問 学校給食費無償化 財源はあるのか

### 答 教育無償化による 財源を活用する

**問** 町長は、公約に掲げた「学校給食費の無償化」を、実行する時期・方法をいまだに明確にして

いない。持続可能な財源確保に問題があるのではないか。



無償化のための財源は

**答** 令和元年10月から実施される幼児教育無償化による財政状況を勘案し、給食費無償化対象者の段階的な実施を考慮するなど、早期実現を目指す。

**問** 「小学校給食費無償化」の「財源は確保されている」と選挙公約に断定記載していたが。

**答** 公約時点では教育無償化の財源を活用しようと考えていた。

**問** 給食費負担は学校給食法第11条で保護者負担が原則である。どのような指針を持って進めているのか。

**答** 現在、制度設計中である。さまざまな意見が参考にながら精査し、町民の期待に沿うよう立案したい。

## 問 文化複合施設 第2期工事は慎重に

### 答 都市再生整備交付金を 活用し進める

公共施設の大規模改修工事が計画され、財源の問題が浮上する。建築費とともに維持費、800席ホールの有効性・稼働率を考慮し再考すべきでは。

**答** 第2期工事は、文化ホール及び郷土資料館を整備する。また、整備期間は令和3年から7年までである。課題となる財源確保は、都市再生事業の交付金活用を中心に考えている。

**問** この事業は、約18億円の造成及び建築工事業費を要する。財源内訳は。

**答** 都市再生整備事業交付金として40%、町負担として54%が起債となり、6%が一般財源となる。事業費は、資材の高騰などが予想されるため調査を進めていく。

**問** 文化複合施設第2期工事の完成時期が、令和7年度に計画されている。この時期は「町公共施設等総合管理計画」の第1期計画が終了する時期と重なる。小学校を初め各





鈴木 凛子



質問者の動画が見られます

一般質問

**問** 児童虐待は、相談件数の増加や重大な児童虐待事件が後を絶たないなど、深刻な社会問題となっている。国が策定した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に、「市町村子ども家庭総合支援拠点」の設置が示された。取り組みはどうか。

**答** プランの中で、令和4年度までに設置する方針が示されている。設置に向け、体制整備を検討している。

**問** この総合支援拠点は「子育て代包括支援センター」とも関連性がある。一体的運用が望ましいと思うがどうか。

**答** 一体的運用に向けて検討している。

**問** 児童虐待  
通告は国民の義務である

**答** さまざまな機会を捉え周知する



虐待と思ったら\*189か役場へ

**問** 高齢者の免許返納へ新たな支援を

**答** 民間サービスを紹介していきたい

**問** 全国的に高齢者の運転ミスによる事故が後を絶たない。先進自治体では免許返納者へ、民間企業との協働でさまざまな施策を行っている。町も「町民バス1年間無料」を行っているが他にも検討しているかどうか。

**問** 免許返納者への支援策として、タクシーチケットを補助している自治体がある。「町地域公共交通網形成計画」の二一調査では、タクシーチケット補助を求める声が第3位と高い割合である。タクシーチケット補助を行っているか。

**答** 県タクシー協会の乗車1割引きや買い物をした際の自宅配送サービス等、民間企業が行っているサービスを紹介したい。

**答** 県タクシー協会の支援策を活用してほしい。今後、町民の移動手段を確保するため、さまざまな取り組みを検討する。

**これ**  
**質問**

**問** 文化複合施設

**答** 大ホールは多角的に検討している

※ 189＝「虐待かも」と思ったときや子育てに悩んだときに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号のこと。

## より良いまちづくりに向け 政策提言



政策提言の積極的な実行を

6月定例会最終日、総務財務・産業建設・教育民生の各常任委員会の調査報告書を、「政策提言」として町長へ提出しました。  
今回は、平成30年9月から各常任委員会での課題を設定し、町執行部への聞き取り調査や先進地視察研修、委員間協議などの調査活動を経て、課題解決に至る所見をまとめました。  
町当局に、今後のまちづくりや町政発展に生かすよう検討を求めたものです。

### 収納率向上に向けた取り組み

総務財務常任委員会

#### 課題

徴税行政の適正な執行にあたっては、相手の状況に合わせた的確に対応することや、納税のみならず他の法律知識等の高い専門性が要求される。  
近年、納税方法としてクレジットカード収納やスマホ収納など収納方法が多様化している。納税者のニーズに合わせた収納方法のシステム導入が必要である。

#### 意見・提言

専門的職員の養成と収納・徴収体制の強化  
● 税のスペシャリストを任用し、その技術を職員に習得させ、可能な限り配置期間を長くできる体制整備を図るべきである。  
● 国では「キャッシュレス・ビジョン」を掲げ、現行で20%前後の国内のキャッシュレス化比率を2025年までに40%まで引き上げ、将来的には世界最高水準の80%を目指すとしている。クレジットカードやスマホ収納は、自宅などでも支払うことができ、かつ24時間支払いが可能である。納税者の利便性向上と滞納抑制にもつながると考えられることからクレジットカード、スマホ収納の導入を図る必要がある。



利便性を高め、納税につなげたい

## 下水道の整備状況

産業建設常任委員会



効率的な整備を目指して

### 課題

- 合併処理浄化槽を設置せずに「汲み取り式」により処理している世帯がある。
- 単独処理浄化槽の設置世帯から放流される水によって放流先の水質が汚染され、周辺環境に悪影響を及ぼしている。
- 下水道は、汚水処理や浸水対策など、都市の健全な発展や生活環境の改善、公衆衛生の向上等のために必要不可欠な社会基盤であるが、町下水道は全域に普及しておらず、住む地域により不平等な状況が生じている。

### 意見・提言

- 合併処理浄化槽の整備**
- 下水道処理区域外の生活環境の改善及び公衆衛生の向上等を図るため、合併処理浄化槽の普及率に努めること。
  - 下水道処理区域で、本管に接続できないため、やむを得ず合併処理浄化槽を設置する場合は、浄化槽設置等補助金の支給対象となるよう現行の補助制度を改正すること。
  - 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え勧奨を実施すること。
  - 合併処理浄化槽設置の世帯に対し、維持管理の重要性と維持管理補助制度についても併せて周知すること。
- 下水道の本管整備**
- 未整備地域に対し、可能な限り早期に整備すること。
  - 本管が目前の幹線道路等まで整備世帯に対し、接続義務等の勧奨を行うこと。

## 環境問題 (空き家・ごみ屋敷)

教育民生常任委員会

### 課題

- 空き家**
- 居住者が居なくなつた後に適切な管理が行われず、防災・衛生・景観等地域環境に深刻な影響を及ぼしている。
- ごみ屋敷**
- 高齢化が進行する中で認知症や身体機能の低下、精神疾患等、さまざまな背景により、管理が不十分となっている。
- 空き地**
- 土地や、住居が解体された後も活用されず放置されている。

### 意見・提言

- 空き家**
- 所有者に管理不全による諸問題の発生を周知し責任意識の醸成を図る。
  - 管理不全な空き家に対しては法令に基づき適切な措置を講じる。
  - 空き家の流動化を促し建て替え等、利活用を進める。
  - 国の特別措置法に基づき、町独自の「空き家等の適切な管理に関する条例」を制定する。
- ごみ屋敷**
- 一般的に「ごみ」とされる物も法的には所有権が存在しているため、代執行も含めた条例の制定が必要である。
  - 条例等、法的根拠があっても、問題の解決には長い日時を要する。早急に調査、研究に着手すること。
- 空き地**
- 現在は所有者への管理依頼が適正になされているが、今後も継続し条例に基づいた調査等を求める。



計画や法整備でしっかり対策を





車がなくなることの不便が

第52回

追跡  
レポート

# あの提言は どうなってるの？

## 運転免許 返納しやすい環境整備を

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

追跡レポート

平成28年12月定例会

答

現時点では考えていない。運転免許を自主返納した人は、65歳以上となるが、タクシー料金が1割引になる民間サービス事業がある。これを利用してほしい。

問

民間バス路線がない地域の人で運転免許証を返納したいという声がある。「民間バス100円チケット」をタクシーでも使用できるように変更できないか。

平成27年3月定例会

答

専門家等の知恵を借りながら検討していく。

問

高齢化に向けて、運転免許を返納しても暮らしていけるよう公共交通を充実させるべきではないか。

平成22年10月

運転免許自主返納者に対し1年間の町民バス無料事業を実施

平成22年9月定例会

答

平成22年10月から町民バスを利用する運転免許自主返納者に対し、1年間無料とする支援事業を予定している。

問

高齢ドライバーによる事故が増加している。運転免許の自主返納を促す支援策は。

令和元年6月定例会

答

県タクシー協会では免許返納者に対し、1割減免している。この制度を活用してほしい。

問

運転免許返納者の支援策として、「タクシーチケット補助」を新設し、「町民バス無料」、「民間バス100円チケット交付」等の選択制にしてはどうか。

平成30年9月定例会

答

ミヤコーバスの料金体系など関係から実施は困難である。

問

運転免許自主返納者に対し、1年間限りで町民バス利用を無料としている。町民バス運行路線外の免許返納者に対し、ミヤコーバス利用無料券を支給してはどうか。

今後も、運転免許自主返納者に対する支援事業の充実を図るため提言をしていきます。



# いきいき活動

町内で活動している団体やサークルを紹介します。また、議会に対する意見もいただきました。



## ～子どもたちに音楽で笑顔を～ 「音楽サークル どれみ隊」

### —活動を始めた時期ときっかけは

利府聖光幼稚園の音楽サークルとして2015年に、「子育て中のママでも気軽に音楽を楽しめる場を作りたい」と思いスタートしました。現在は、幼稚園の枠を越え、子どもが好きな女性のサークルとなりました。

### —活動目的と会員数は

地域の子どもたちを音楽で元気にしたいとの思いで活動しています。また、子育て世代が集まっているので、「子育ての悩み相談や情報交換の場」にもなっています。会員数は15人程です。

### —活動内容は

ゆるい雰囲気になりたいとの思いで、練習は月4回、会費は月数百円程度です。子連れ参加、出入りも自由です。楽器は、弦・管・鍵盤楽器とさまざまで、子どもたちに喜んでもらえるような曲を練習しています。

### —皆さんの反応は

最近、絵本の読み聞かせに合わせて演奏をするスタイルを始めました。大変好評で、イベントへの参加依頼がおかげさまで来年3月までびっしり埋まっています。毎回聴きに來てくださる人もおり、励みになっています。

### —ご苦労されている点は

イベントの運営が大変ですが、その都度、皆でフォローし合いながら頑張っています。

### —まちづくり支援事業に申請されて、いかがでしたか

イベント参加の際、会場に音響等の備品が整っていない場合があり、ドタバタしてしまうことがあります。どの会場にも対応できるように、最低限の備品は持参したいと思い、申請しました。また、すぐに「どれみ隊」と分かってもらえるようにお揃いの「Tシャツ」も購入しました。

### —今後の課題や展望は

サークルの活動内容は東北で初めてではないかと言われています。活動するたびに新しい発見があります。これからは、自分たちでイベントを主催し、読み聞かせサークルなど、他のサークルとコラボしたいと思っています。

### —「議会だより」の感想を

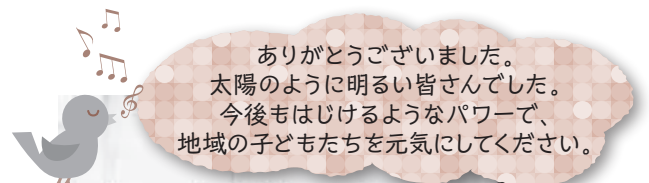
写真が大きく、目に留まります。文章も簡潔でとても読みやすいです。

### —私たち、議会・議員に一言を

子どもが雨の日でも思いっきり安全に遊べる場がほしいです。そのような声を町に届けてほしいです。

### —これからの「まちづくり」に一言

文化複合施設が整備され、交流人口も増えにぎやかな町になっていくと思います。それに伴う交通渋滞対策や、通学路安全対策を講じてほしいです。子どもが巣立った時に戻ってきたいと思える町になってほしいと思います。



各種町内イベントに参加します



# 住民の 声 こえ



年度ごとにテーマを設定し、4回にわたり  
住民の皆さまから意見をいただきます。

令和元年度テーマ

## オリンピックinRIFU

(2回目/全4回)



### 『町のリソースの 有効活用』

かとう よしあき  
加藤 義明 さん  
(菅谷台)

利府に住んで23年。私の住む団地の近くに緑豊かな県民の森や、1997年に完成したグランディ21があります。2000年にはイオンモールが営業開始し、2002年にしらかし台ICが完成。2001年の国体と2002年のサッカーワールドカップに合わせて大きな発展を遂げました。

そして2020年には東京オリンピックが開催されます。私が生まれた1964年は東京オリンピックの年で、当時の事は覚えていないながらも2回目の東京オリンピックを迎えることに感慨深いものがあります。グランディ21ではサッカー競技が開催予定なので、元ベガルタ仙台のゴールキーパーであるシュミット・ダニエル選手の活躍も楽しみみの1つです。

利府町はスポーツに縁のある町だと感じますが、グランディ21で大きな大会があると交通渋滞となるのは、今も継続課題です。普段の生活ではさほどの不便が無くても、町にある施設を活かしさらなる発展を遂げるためには何かひと工夫が必要と感じます。

私の趣味はマラソンです。自宅近くのグランディ21と県民の森が練習場所で、起伏の多いコースなので並みのマラソン大会には十分対応できる体力を維持できます。今年は100kmのウルトラマラソンを、2回完走することができました。良い環境に住めたと改めて感じます。

最後に提案を2つ。1つは、以前あった町のマラソン大会の復活です。町民の参加はもとより、町外からも参加したくなる魅力的な大会を開催してほしいです。もしマラソン大会が開催されればボランティアとして参加したいです。もう1つは、スポーツ大会や観光の拠点として使えるキャンプ場の運営です。コンサートや各種スポーツ大会で活用できれば、宿泊施設の不足や交通渋滞の解消にもなると思っています。町と県のリソースを上手く組み合わせれば有効活用すれば実現できるのではないのでしょうか。

来年のオリンピックを通して利府町の良いところが口コミ等で広がることを期待し、そのために微力ながらお役に立てればと思います。

## みんなの議会 傍聴しませんか

- 次の定例会は、**9月17日(火)から10月1日(火)**を予定しています。
- 傍聴の際は、住所、氏名、性別、年齢(○歳代)を記入していただきます。
- 審議日程など、詳しいことは、議会事務局(TEL 022-767-2127)にお尋ねください。

この議会だよりは1万3750部作成し、1部あたりの印刷製本費は約14円です。



編集作業中の委員

### 編集/議会広報常任委員会

委員長 及川 智善 副委員長 高久 時男  
委員 鈴木 忠美 安田 知己 小淵洋一郎  
鈴木 晴子 伊藤 司

発行 **利府町議会**

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地  
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110